

令和7年4月15日

芦花中学校生徒のみなさんへ

世田谷区立芦花中学校
校長 風間 浩也
情報教育・ICT担当

学習用タブレット端末の利用について

1 はじめに

タブレット(iPad 端末および付属品)は、世田谷区教育委員会があなたに貸与するものです。あなたが卒業・転出する際にはタブレットを返却します。その後、タブレットはまた別の生徒(新入生や転入生)に貸与されます。破損や汚損、紛失がないよう、責任をもって管理し、大切に扱ってください。

2 目指す姿

自ら考え、向上しようとする人

タブレットを活用することにより、自らの将来像を描きながら、主体的に考え、生涯にわたって学び続けることのできる人を目指します。

これから学びは、先生から「教えてもらう」ものから、自分で「学ぶ」ものへと変わります。自分から、調べたり、まとめたり、考えを伝えあつたりする道具としてタブレットを使ってください。また、自分で課題を見つけ、解決を目指す学習にも挑戦しましょう。

ステップ1 誰でも、いつでも、どの教科等でも、適切にタブレットを活用できる。

↓

ステップ2 学びを深めるために効果的にタブレットを活用する。

↓

ステップ3 タブレットを効果的に活用し、これまでの学びをベースにして社会にみられる課題等の解決を図ろうとする。

人ととの対面でのコミュニケーションや、実物に触れる体験も大切にしながら、タブレットを有効に活用し、一人一人の学びを充実したものにしていきましょう。

3 タブレット活用の原則

芦花中学校におけるタブレット活用の原則

- 基本的には、調べたり、まとめたり、考えを伝えあつたりするために使用します。
- 学びを深めるために、効果的で適切な使い方であるか、各自で判断します。
- 不適切な使用が自他に与える影響についても考えた上で自律的に行動します。

タブレットの管理は個人の責任で行います。

- ・紛失やいたずらを防止するため、タブレットは授業を受ける教室に持っていきます。持っていない場合は、かばんの中に入れるなどして紛失を防ぐ工夫をします。
- ・タブレットは毎日家に持ち帰り自宅で充電します。教室に置いて帰りません。

自他の権利を侵害する行為や法に触れる行為はしません。

- ・タブレットには個人情報が含まれています。設定したパスコードが他人に知られ、勝手に使われることのないようにしましょう。また、他者のタブレットに触ってはいけません。
- ・相手の許可なく、録画・録音・撮影をしてはいけません。
- ・許可を得て録画・録音・撮影をしたとしても、それらを加工したり第三者へ配布したりしてはいけません。

タブレットのパスコードは責任をもって管理します。

- ・パスコードを忘れると、タブレットが使えなくなります。何度も誤ったパスコードを入力するとタブレットにロックがかかり、データが復旧できなくなります。学校では対応できなくなります。

破損、故障、紛失等に気づいたら、すぐに先生に相談してください。

- ・学校で対応できない破損、故障は先生経由で教育委員会に申請し、修理や交換を行います。
- ・紛失に気が付いたら至急先生に連絡をしてください。位置検索で探します。見つからない場合は、警察署に遺失物届を提出してもらうことになります。
- ・引き取り修理の間、代替機を貸し出すことができますが、台数には限りがあるので、ご希望に添えないこともあります。

・不適切な利用方法で故障・破損または紛失した場合は、ご家庭での補填をお願いする場合があります。

4 使用場面・こんなときどうする

場面やトラブルの内容ごとの対応を記載しました。参考にしてください。

① 登校～朝学活

- ・朝読書の時間にはタブレットを使用しない。タブレットを使用しての朝読書はしない。

② 授業中

- ・「タブレット端末」と「紙のノート」それぞれの利点をいかし、上手に使い分ける。
- ・アプリを効果的に利用して、調べたり、まとめたり、考えを伝えあつたりしよう。
- ・授業の録音や撮影については、必ず授業者の許可を得てから行う。

③ 休み時間

- ・タブレットから離れる場合には、机の中またはカバンの中にしまう。
- ・他の人のタブレットには絶対に触らない。

④ 終学活

- ・放課後の使用の有無やバッテリー残量によらず、毎日必ず自宅へ持ち帰る。

⑤ 学校でバッテリーがなくなったら

紛失対策のため、学校での充電はしません。家庭での充電を行いましょう。

⑥ 破損・汚損・紛失およびトラブルがあったら

- ・担任または学年のICT担当の先生に報告し、直ちに紛失した地域の警察署に届けを提出する。

⑦ 校外学習での使用について

- ・学校がタブレットを校外学習で使用する許可があった場合は破損・汚損・紛失がないよう留意し、適切に使用する。

⑧ 部活動や委員会での使用

- ・顧問の許可を得て、適切に使用する。

⑨ 家庭で

- ・保護者と相談し、ICT機器を使用する時間などのルールを設定しましょう。
- ・家庭のルールに従い、関心のあることがらについて調べたり、授業の予習・復習といった自学自習に活用したりする。また、自らの学習や生活を振り返ったり、見通したりして、これから学習や生活を調整し、変容や成長を自己評価する。
- ・充電は各自が家庭で行う。夜間に自動アップデートが実施されることもあるので、電源は切らずにタブレットを充電器につないだ状態にしておくことが好ましい。

⑩ 静止画・動画の撮影、録音および印刷について

- ・授業の黒板の撮影や発言の録音をしたいときは、必ず授業者の許可を得る。
- ・画像や映像には人が映らないようにする。人を映す必要がある場合は、その人に必ず許可を得る。また、それを発表に使用する場合には、使用の許可も得る。
- ・撮影したいものは、撮影対象（板書や作品）の作者や映っている人に必ず許可を得る。
- ・必要がなくなった静止画や動画のファイルは適宜削除する。また、個人情報保護の観点から、タブレットで撮影・録音したものは原則外部に取り出さない。

⑪ 画像や文書等のデータの保存と外部への取り出しについて

- ・タブレットのストレージ（メモリ容量）がいっぱいになると、タブレットの処理速度が遅くなり、使用に支障が出るため、学習に関係のないデータを保存しないようする。また、定期的に不要なファイルを削除し、ストレージの空きを十分に確保するようする。
- ・個人情報保護の観点から、タブレットで撮影・録音したものは原則外部に取り出さない。

⑫ アプリのインストールとアップデートについて

- ・アプリのインストールとアップデートは「mobiApps」アプリで行う。
- ・教育委員会が許可したアプリのみインストールできる。しかし、タブレットのストレージ（メモリ容量）がいっぱいになると、タブレットの処理速度が遅くなり、使用に支障が出る。インストールは自由にできるが、授業や家庭での学習に使用するアプリ以外はインストールしないようする。
- ・よく使うアプリ（ロイロノート、teamsなど）は自身でこまめにアップデートを行う。
- ・インストールやアップデートの途中にwi-fiが切断されると、エラーとなり、生徒には解決できない状態になってしまうため、時間があるときに、ネットワークが安定している場所で実施すること。「インストール中」との表示が出たまま進まないなどのトラブルが生じた際は、担任の先生またはICT担当の先生に申し出る。

⑬ iPad のパスコードや各種ログイン情報について

- ・学校から配布するアプリ等のログイン情報を記載した通知書は、卒業または転出するまで家庭で大切に保管すること。
- ・自分のプライバシーを守るために、IDやパスコードは他人に教えません。

⑭ その他

- ・タブレット本体の保護のため、常にキーボード付きカバーを装着しておく。
- ・液晶画面に保護フィルムを貼ったり、名前シールを貼ったりしてもよい。ただし、卒業・転出でタブレットを返却する際にはそれらをはがし、借り受けた時の状態に戻すこと。
- ・タッチペン、ポータブル充電器、キーボードを使用してもよい。ただし、自己の責任のもと管理すること。これら以外のアクセサリーを使用したい場合は担任の先生に相談しましょう。